



すべての子どもと家庭を支援します

燕市子ども・子育て会議条例の制定

◎全会一致で可決

平成27年4月からスタートする「子ども・子育て新制度」への対応に向けて、合議制の機関として設置する「子ども・子育て会議」に関する条例。

問 現在ある「次世代育成支援推進委員会」との違いは何か。

委員の選考について、どのように考えているのか。委嘱という同じ顔ぶれになりやすい。重複は避けるべきだが、どう考えているのか。

答 「次世代育成支援推進委員会」でつくったのは平成27年3月までの計画で、この「子ども・子育て会議」に関するものは平成27年4月から



子どもの豊かな放課後保障の審議もされる

新制度として動くもの。

メンバー構成は法律上規定されている。保護者・保育士・事業主・労働者・公募・大学の教授等、識見を有する者で、15名程度。附属機関の委員の設置については、5機関以内という指針がある。推薦願いを出すときに意向を伝えていきたい。

老朽化している市営住宅の取り壊しを進めます

燕市営住宅条例の一部改正

◎全会一致で可決

老朽化している市営住宅の取り壊しを進めているが、取り壊された住宅を取り除くための条例の改正。



空き地が広がった緑町市営住宅

問 緑町住宅団地の現状はどうか。今後どのように取り組んでいくのか。また、地震等の危険性はないのか。

答 順次取り壊しを進めているが、1棟のうち1戸でも入居者がいれば取り壊すことができない。平屋建てであるため、地震の被害はあまりない。老朽化しているので注意深く見ていきたい。

新しい市議会議員をご紹介します

4月6日に告示された市議会議員補欠選挙で、宮路敏裕さん(56歳)が当選されました。



みやじ としひろ
宮路敏裕 議員 (燕市東太田)

市民の声にしっかり耳を傾け、市民の代弁者としての責任を果たすため、全力を尽くします。

議員定数調査特別委員会から報告します

平成25年12月議会に設置された「議員定数調査特別委員会」は、人口7万人から10万人規模の全国自治体資料なども検討し、議員全員の意見を出し合いました。その結果、改選まで8カ月を過ぎた中で、早急に定数を減らすべきとの意見はありませんでした。

10月に行われる一般選挙で選出される議員によって協議していくことになり、特別委員会は3月20日解散しました。

